

### 内科健診について

～栄養状態・背骨や胸かく・運動器・心音の異常などを

内科校医の松山小太郎先生に診ていただきます。～

※健診時、保健室内ではマスクを着用してください。

- 1、 日時 1年生：4月27日（木） 8：50～（1クラス約15分）  
2・3年生：5月11日（木） 8：50～（1クラス約20分）
- 2、 順序 A男子A女子→B女子B男子→C男子C女子
- 3、 健診場所 保健室
- 4、 服装 体育着（半袖体育着とハーフパンツまたはジャージ）

\*四肢や脊柱の健診時に半袖体育着を脱いで行う場合もあるので、女子は体育着の下にキャミソールまたはランニングシャツを着ておいてください。  
\*髪の長い人は、首から背中が見えるようにまとめて上げておいてください。

#### 健診内容

##### ◆心臓や肺◆

聴診器を胸や背中に当てて、心臓や肺の音に異常がないかどうか調べます。前と後ろ両方に聴診器を当てます。

##### ◆皮膚◆

皮膚の色やつや、血色等はどうか、皮膚の病気がないかどうか調べます。

\*マスクは指示があるときのみ外してください。

##### ◆栄養状態◆

年齢に応じた成長の度合や、皮下脂肪や筋肉の発達、栄養状態の判定をします。肥満傾向はないか栄養不良でないか調べます。

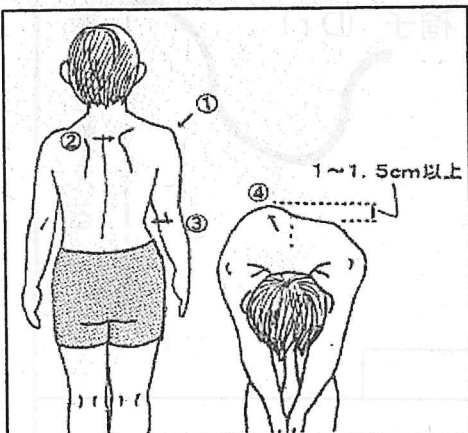
##### ◆貧血◆

まぶたの裏側を診て、貧血の疑いがないかどうかを調べます。指示があった人は自分でまぶたをさげてください。

##### ◆四肢の状態及び脊柱側彎症検査◆

四肢の状態とは「四肢の形態及び発育並びに運動器の機能の状態」のことです。運動不足による筋肉・関節・骨などの発達に問題がないか、また、過度のスポーツによる障害などがないかなどを観察して、成長過程にあるみなさんの脊柱・胸郭・四肢・骨・関節の疾患及び異常を早期発見することが目的です。事前の問診票を参考に行います。脊柱側彎症の検査は2年生全員が対象となります。

#### 脊柱側彎症検査



脊柱側彎症とは、成長期に背骨が曲がってしまう病気です。早い段階で発見し治療することが大切です。

- ① 両肩の高さに差がある
- ② 量肩甲骨の高さ・位置に差がある
- ③ 左右の脇線の曲がり方に差がある
- ④ 前屈した左右の背面の高さに差がある

専門医の受診が必要な場合は、お知らせと医療機関リストを渡します。

その他の検査

◆結核検診◆

保護者に記入していただいた保健調査票の問診票より、二次検査の受診が必要かどうか校医の先生が判断し、該当する人には各ご家庭にお知らせを渡します。

～ 当日の保健室内での動きです～

- ① 廊下、保健室内ではおしゃべりをしないでください。  
※校医の先生は聴診器を使って小さな心臓の音を聴いています。
- ② 入室時に手指の消毒をします（アルコールを使えない場合は、ハンドソープを使用し手洗いをする）。
- ③ 保健室内には3人ずつ入り、A→B→C→Dの順路で回り、Eから出ます。  
A：待機  
B：準備【半袖の体育着のみになって待ちます。\*女子は体育着の中にキャミソールまたは、ランニングシャツのみを着る。】  
C：診察【椅子に腰かけてまっすぐ前を向きます。次に椅子を回して後ろを向きます。その後に運動器の検査を行います。  
D：服装を整えます。  
E：出口

